

無縁化が進む戦没者碑に新たな供養の取り組み 34基の石碑を集約し合同慰霊碑を建立 4月18日(土)、羽曳野市で除幕式

創業110余年の老舗墓石店が、供養の継続を支える新たな仕組みを事業化

大阪府で墓石業を営む石留石材株式会社(本社:大阪府藤井寺市、代表:田中祥元)は、地域の共同墓地に並んで建てられた戦没者の石碑を集約し、永続的な供養の場へ再編する取り組みを進めている。戦後81年が経過し、戦没者碑の無縁化が問題となる中、供養を継続する新たな仕組みとして展開している。

同取り組みでは整備費用を同社が全額負担し、新たに造成する墓地の販売収益を整備費用に充当することで、持続可能な供養の仕組みを構築している。これにより、無縁化の防止と管理負担の軽減につなげる。

本取り組みの初の事例として、羽曳野市西浦の共同墓地にある戦没者の石碑34基を集約し、4月18日(土)午後3時に合同慰霊碑の除幕式を行う。なお、除幕式には調査によって判明した血縁者や地域住民、遺族会関係者ら約30人の参列を見込む。



地域の供養を継続するため
新たに建立された合同慰霊碑

(背景) 高齢化・跡継ぎ不足による維持が困難になる戦没者の慰霊の場

近年の高齢化や跡継ぎ不在により墓地の無縁化が進んでいる。同様の背景から、遺族会の解散も全国的に相次いでいる。石碑に手を合わせてきた血縁者が不明となるケースもあり、供養や維持管理の継続が難しくなっている。地域によって建立されたものでありながら、個人の供養という性質上、地域の判断だけで整理や統合が進められないといった課題もある。

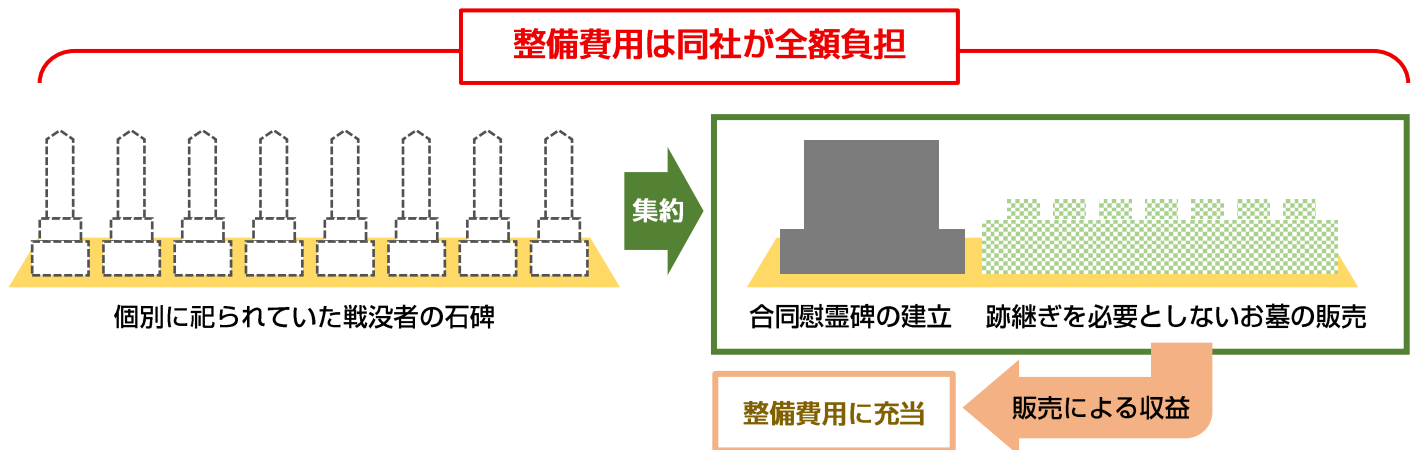


本事業では、地域や遺族会、関係者との協議を重ね、地元寺院にも協力を仰ぎながら血縁者の確認と合意形成を図り、石碑の集約と再編を進めている。34基ある石碑のうち31基の血縁者が判明している。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

（解決策）整備費用を同社が全額負担し、墓地販売による収益を整備費用に充てる

本事業では、血縁者や遺族会に費用負担を求めず、戦没者の石碑の集約・整備費用を同社が全額負担する。整備によって生まれた約56㎡の空きスペースには、新たに「羽曳野にしうら墓苑（仮称）」を造成し、跡継ぎを必要としないお墓として販売することで、その収益を整備費用に充てる仕組みとしている。墓苑は個別での供養が可能で、将来的に墓守が難しくなった場合には同墓地内で合祀され、縁ある場所で眠り続けることができる。（本事業の仕組みを図式化すると以下の通り。）



「跡継ぎを必要としないお墓」とは（写真はイメージ）



将来の墓じまいやその後の供養までを含めて設計された新しい形態の墓地である。一般的な樹木葬では利用期間が定められていることが多いのに対し、本墓地では墓守が可能な限り個別の墓で供養を続けることができる点が特徴である。墓守ができなくなった場合には、寺院により墓じまいが行われ、埋葬されたご遺骨を永代供養墓へ移し、その後も供養が継続される仕組みとなっている。

（当事業の意義と今後）供養の継続と地域の負担軽減を両立する新たなモデル

この取り組みにより、戦没者の供養を将来にわたって継続できる環境が整うとともに、血縁者や地域、遺族会の維持管理にかかる負担軽減が期待される。また、新たに造成される墓地では、一般の方も含め跡継ぎに不安を抱える人でも安心して供養の場を持つことができる。こうした仕組みは、地域に残る戦没者慰霊の場を次世代へ引き継ぐ一つのモデルとなる可能性があり、同社では今後、同様の課題を抱える地域への展開も視野に入れている。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

石留石材株式会社 担当：田中祥元（たなかよしゆき） TEL：0120-53-5578 MAIL：y-tanaka@ishitome.jp

担当者（代表者）コメント

石留石材株式会社 代表取締役 田中祥元

跡継ぎに不安を抱える墓地の使用者が増えているだけでなく、共同墓地を管理するボランティアの方々も高齢化や担い手不足といった課題を抱えています。弊社では、そうした共同墓地の管理業務のサポートに取り組んできました。その中で、戦没者の石碑をこのまま維持していけるのかという課題に直面しました。供養を続けたくても後継ぎがないという声も多く聞かれます。

血縁者や地域、遺族会だけでなく、地元で長くお墓に関わってきた私たち石留石材も積極的に関わることで、供養を次の世代につないでいきたいと考えています。



石留石材株式会社について

大正3年創業の墓石店で、藤井寺市・羽曳野市・松原市をはじめとする南河内地域を中心に、これまで1万基以上の墓石建立に携わってきた。近年は、共同墓地の管理業務のサポートにも取り組んでいる。また、墓地の無縁化といった社会課題に対応するため、市民向け講座の開催や、跡継ぎに不安を抱える人でも供養を続けられる墓地の研究・開発を通じて、地域の供養環境の維持に関わっている。

【会社概要】

社名：石留石材株式会社（いしとめせきざい）

本社所在地：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

代表取締役：田中 祥元（たなかよしゆき）／5代目代表

HP：<https://www.ishitome.jp/>



除幕式の概要・本件の取材お申し込みやお問合せ先について

【除幕式概要】

日時：2026年4月18日（土）午後3時

場所：西浦共同墓地（大阪府羽曳野市羽曳が丘3丁目） [アクセスはこちら→](#)

駐車場：あり

内容：除幕、黙祷、読経、焼香など



【本件取材のお申込み・お問い合わせ先】

担当者：石留石材株式会社 田中 祥元（いしとめせきざい／たなか よしゆき）

TEL：0120-53-5578（対応時間 8:00～17:00／年中無休）

直通携帯：090-1583-4114（時間外対応可）

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

石留石材株式会社 担当：田中祥元（たなかよしゆき） TEL：0120-53-5578 MAIL：y-tanaka@ishitome.jp

E-mail : y-tanaka@ishitome.jp

※ その他の取材・インタビュー等についても、お時間などできる限り対応させていただきます。

※ 掲載や取材にご利用いただけるカット写真等多数ご用意しております。お気軽にお申し付けください。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

石留石材株式会社 担当：田中祥元（たなかよしゆき） TEL：0120-53-5578 MAIL：y-tanaka@ishitome.jp